

「九州の未来力 2030」第9回会合における座長からの提言

アジアの企業成長と消費パワーに接する九州は、わが国経済の成長センターとして限りない可能性を秘めており、九州各県と市町村が、九州の未来像を共有し、民間企業や住民の力を最大限に引き出すことができるならば、九州の未来は大いに輝かしいものとなる。

しかしながら、東京一極集中に歯止めがかからない中、今年8月に国土形成計画が閣議決定され、かつ、国と地方あげて地方創生への取り組みが進められている今こそ、地方（九州）の価値（潜在力）を見出し、九州のポテンシャルを活かす絶好のチャンスである。

今後、九州の未来のさらなる発展に向けた各界の議論を喚起するため、次の提案をアピールする。

1. 国土形成計画の一部を民間レベルにブレークダウンした、民間主導のプロジェクトとしての速やかな遂行
2. 「九州・沖縄地方成長産業戦略」「九州創生アクションプラン」のスピード感を持った実現
3. 国家戦略特区や総合特区政策の官民挙げての早期の実現と、アジア市場で活躍できる国際企業の育成強化
4. 首都・本社機能等誘致プロジェクトの推進
5. 九州の未来へのプロジェクト実現のための「リーダーシップ」を発揮する人材の発掘

平成28年 1月19日

九州の未来力2030

座長 森本 廣